

クラス番号	233	ゼミタイプ	サービスラーニング (NPO) 型
		担当教員名	岡本 一美
テーマ	NPO での実践と対話から学ぶ「コーディネーター・スキル」		

ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

授業の目的	① 福祉系 NPO 成り立ちとネットワーク化、基礎自治体ごとの行政、社協、事業者等との協働による地域福祉のまちづくりについて学ぶ ② チームメンバーや活動先との対話を深め、「多職種連携」の基礎となるコミュニケーション・スキルについて考える	
授業の内容	① 地域特性を伝えるレクチャー ② チームづくり ③ NPO に関わる体験活動とそのまとめ ④ チームのリフレクションと研究 ⑤ 研究報告会と個人レポート作成	
授業の方法	チーム作業と NPO とのコミュニケーション、ゼミ全体での共有を繰り返し、個人のふりかえりを行うことで、相互に学び合い、成果をブラッシュアップする	
そのほか	NPO に関わる活動は、授業時間内外を通じて、柔軟に行う	

授業計画：

4 - 5 月	地域概要を知る・NPO について調べる チームをつくる・関わる NPO の概要をつかむ	
6 - 7 月	NPO 打ち合わせ・NPO の課題把握 学生企画の発案・活動準備	
9 - 10 月	NPO に関わる活動や学生企画の実施	
11 - 12 月	活動のふりかえり・活動を俯瞰し問いを立てる・チーム研究・研究報告会	
1 月	個人レポート提出	

* コロナウイルス感染症等、社会状況によって、年間計画が変更になる場合があります。

担当教員からのメッセージ

MSW (医療ソーシャルワーカー) など、医療系福祉専門職として社会に貢献したいと考える人材には、「多職種連携」の基礎を学んでいくことが求められています。

現場における職種間の権限と責任の違い、チーム内での連絡・調整、互いの業務への理解促進など、コミュニケーション・スキルをアップし、当事者の住む「地域特性」を把握して、そこにある宝物のような「地域資源」をつなげていくチカラが必要です。

このゼミでは、知多地域で 30 年前からはぐくまれた「住民互助活動」の延長上にある「福祉系 NPO」での実践活動をもとに、上記スキルや地域での当事者ニーズと解決策としての地域活動について学び、「コーディネーター」スキルを実感することをめざします。